

2016年4月25日

**医療機器の製造拠点、青森オリンパスの新棟を竣工
患者さんの負担軽減に貢献する治療機器を、青森から世界へ
生産効率向上で盤石な体制を実現**

オリンパス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:笹 宏行)は、医療事業のさらなる飛躍を目指して、医療機器の主要製造拠点のひとつである青森オリンパス株式会社(青森県黒石市)に新棟を建設しました。2016年4月25日に竣工し、同年9月末より本格稼働する予定です。

当社の医療用内視鏡は、1950年の胃カメラ実用化以降、がんなどの病気の「早期発見」と、手術・処置に伴う痛みなどの負担をできるだけ軽減する「低侵襲(ていしんしゅう)治療」に貢献しています。青森オリンパスで生産されている製品は、主に内視鏡治療で用いられる処置具や外科手術用エネルギーデバイスなどです。これらの製品は、日本国内だけでなく世界中の医療機関へ届けられ、患者さんの治療に使用されています。

今回の新棟建設により、生産効率の向上を図り盤石な体制を実現します。また、新棟の稼働後には既存棟の改修も行い、さらに従業員が働きやすい環境作りを目指します。今後も医療事業を通して、「新しい価値を提案し人々の健康と幸せな生活を実現する」というオリンパスグループの経営理念「Social IN(ソーシャル・イン)」を実現していきます。

当社は、医療事業のさらなる飛躍を目指して、医療機器の主要製造拠点(会津・白河・青森)の生産能力増強・生産効率向上・BCP^{※1}対策を図り、盤石な生産体制の構築を目的とした新工場棟建設計画を2012年12月に発表しました。すでに、白河および会津は、竣工を迎えています。

※1 Business Continuity Planning(事業継続計画):何らかの障害が発生した場合に重要な業務が中断しないこと、または業務が中断した場合でも目標とした復旧時間内に事業が再開できるようにするための対応策などを定めた包括的な行動計画



青森オリンパスの外観

●竣工後の青森オリンパス株式会社の概要

1. 所在地:青森県黒石市追子野木2丁目248-1 (代表取締役社長 高村幸治)
2. 総従業員数:約770人(派遣社員および外部委託除く、2016年4月時点)
3. 総延べ床面積:約20,000㎡(新棟は約9,000㎡)
4. 敷地面積:39,500㎡

●新棟の概要

1. 建築構造:鉄骨構造2階建て1棟、耐震構造
2. 総工費:約27億円
3. 新棟の主な特徴:
 - ①生産効率向上と品質管理の徹底
 - ・製造ラインの集約と拡張により、生産効率の向上を図り、盤石な生産体制を実現
 - ・外壁を二重にすることで、建屋の防虫防鼠対策と、塵や埃のないクリーンルーム環境を徹底
 - ②環境配慮設計:
 - ・すべての照明にLEDを採用
 - ・フリークーリング(中間期や冬期に冷却塔を用いて冷水を製造するシステム。冷凍機を稼働しなくてすむため、省エネルギーが期待できる)を採用
 - ③従業員の働きやすさ向上:
 - ・ユーティリティスペース(休憩所)の新規設置
 - ・乗用エレベーターを設置
4. 新棟フロア構成:

2F	生産区域
1F	生産区域、非生産区域(部品調達部門など)

●既存棟の改修に関する概要

新棟の稼働後、従業員のさらなる働きやすさ向上を目指して、既存棟の改修を行います。

1. 改修時期:2016年10月開始、2017年7月終了(予定)
2. 既存棟の改修内容(予定)
 - ・食堂の改築(座席数を約2倍に増加)
 - ・パウダールームの新規設置
 - ・大会議室の新規設置(最大100人収容可能)
 - ・多目的トイレ設置
 - ・正面玄関前の車寄せに、屋根を設置
 - ・正面ロビー内の製品展示スペースを拡大
3. 改修後の既存棟フロア構成:

2F	生産区域、非生産区域
1F	非生産区域(食堂や更衣室、技術部門など)

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。